

第8期北海道総合開発計画(平成28年3月29日閣議決定)においては、「世界の北海道」を目指し、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付けており、引き続き食と観光を担う「生産空間」の維持と発展に取り組んでいく必要があります。具体的には、激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震、インフラの老朽化の現状を踏まえ、道路の防災対策、老朽化対策や交通安全対策等、社会資本の戦略的な維持管理・更新を推進します。

また、多様な機関との連携のもと、「シーニックバイウェイ北海道」の推進、道の駅の整備等のドライブ観光促進の取組や、「サイクルツーリズムの推進」に取り組みます。

社会資本の戦略的な維持管理・更新

道路の防災・老朽化対策の推進

今後も懸念される大規模自然災害を見据え、防災・減災対策、老朽化対策、交通安全対策等を推進します。また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(令和2年12月11日閣議決定)について、防災・減災、国土強靱化に向けた取組を重点的かつ集中的に対策を実施します。



道路の防災対策(霧立防災)



老朽化対策(橋梁補修)

冬期交通の安全確保

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象状況や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除排雪作業を実施します。



冬期交通の安全確保(国道除雪)

シーニックバイウェイ北海道

地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、個性的で活力のある地域づくり、景観づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取組です。平成17年度よりスタート、留萌管内では萌える天北オロロンルートが活動しています。

また、「世界水準」の観光地形成に向け地域の活動団体がお薦めする魅力ある景観を有する道路を選定し、景観の維持・形成や誘客に向けた広報等を重点的に実施する、シーニックバイウェイ「秀逸な道」を令和3年度から本格的に展開します。

萌える天北オロロンルートと主な活動内容

●: 指定ルート
○: 候補ルート

道北ルート 連携フォトコンテスト

2020年度 萌える天北オロロンルート賞作品

国道232号 清掃活動

平成30年度から継続的に取り組む 国道232号沿いの清掃活動

国道231号 道の駅るもい周辺 道路協力団体活動

道路協力団体として、道の駅るもい沿いの 植樹樹清掃活動と地場商品の物販

オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト

道路パトロールカーに工具や空気入れを搭載した「応援カー」

○北海道におけるサイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向けた「北海道サイクルツーリズム推進方針」を踏まえ、多様な関係機関と連携し、安全で快適な自転車走行環境の創出、サイクリストの受入環境の改善や情報発信等の取組を推進します。



留萌管内サイクリング状況

● 道路事業の概要

路線名	主要事業
E62 深川・留萌自動車道 国道233号	【老朽化対策】橋梁補修等
国道40号	【天塩防災】地吹雪による視程障害の低減
国道231号	【老朽化対策】トンネル補修等
国道232号	【小平防災】法面崩落、越壁等による危険箇所の解消 【高砂橋架替】高砂橋の架替 【北里交差点改良】事故危険区間の解消 【羽幌南大通交差点改良】事故危険区間の解消 【三泊路肩改良】事故危険区間の解消 【老朽化対策】橋梁補修等
国道239号	【霧立防災】地すべり等による危険箇所の解消(トンネルによる別線整備) 【老朽化対策】橋梁補修等